



復活プロジェクト

ちっと

おいで館

小江戸・川越
スカラ座

おいで館

日時：2017年9月28日(木)
13:00～14:00

場所：川越スカラ座

木戸銭：1,000円
(入場料)

《イベント内容》

寄席と演芸を
楽しもう！

太神楽
鏡味 仙成
(かがみ せんなり)



着物での参加、大歓迎！
レトロでかわいい写真を
インスタグラムにあげよう！
(撮影自由)

※上演中の撮影及び出演者の撮影は禁止です。



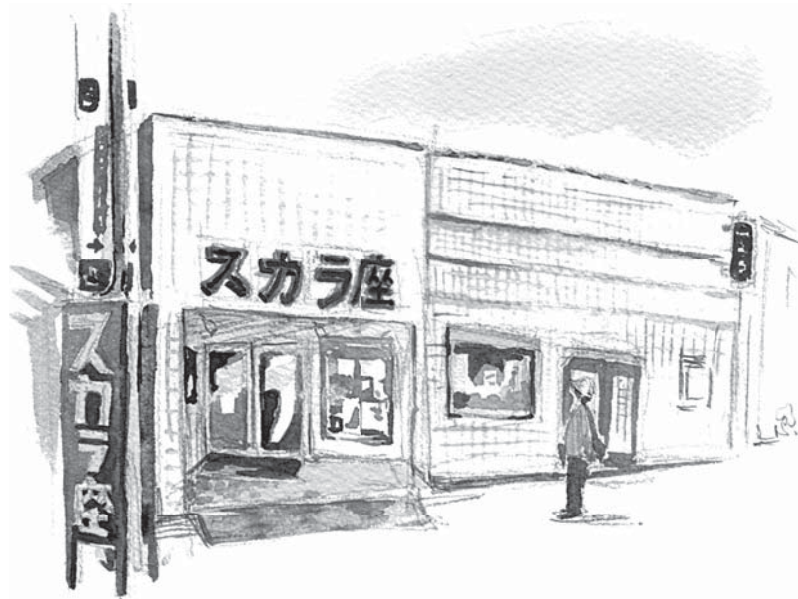
#川越おいで館
@oidekan_kawagoe



川越の歴史ある劇場で タイムスリップ体験!!

川越スカラ座は 112 年という長い歴史を持っています。「一力亭」という寄席から始まり、明治時代「おいで館」、大正時代「川越演芸館」そして昭和 15 年に「川越松竹館」に生まれ変わり、今の川越スカラ座へと繋がってきました。川越スカラ座はこれまで 112 年間変わらず娯楽を提供することでこの地域の方々に笑顔にしてくれた歴史深い地域の宝物です。

そんな歴史溢れる劇場でタイムスリップを体験してみませんか？ 私たちは、このたび「おいで館ちっと復活プロジェクト」という新しいプロジェクトを立ち上げました。川越スカラ座で、着物を着て昔ながらのエンターテインメントを体験しましょう！



Time trip experience at Theater of Kawagoe! !

Theater of Kawagoe has a long history such as 112 years. Continuing from the Meiji era, this theater has given people a smile by providing entertainment for over hundred years.

Why don't you experience time trip at this homey theater?

We established a new project named "Old Fashioned Entertainment with Kimono (O.F.E.K.)". If you wear Kimono, you can experience old fashioned, but cute and unique performance at the most historical theater in Kawagoe.

スカラ座の歴史

- 1905年(明治38年) 「一力亭」(寄席)としてスタート
- 1907年(明治40年) 「おいで館」に改名
- 1921年(大正10年) 「川越演芸館」に改名
- 1940年(昭和15年) 今の原点「川越松竹館」に生まれ変わる
- 1963年(昭和38年) 「川越スカラ座」に改名
- 2007年(平成19年) 5月27日 「川越スカラ座」閉館
8月18日 「川越スカラ座」復活
- 2012年(平成24年) 「川越スカラ座」復活5周年

主催 おいで館ちっと復活プロジェクト実行委員会

後援 川越市 川越商工会議所 (公社)小江戸川越観光協会

お問合せ おいで館ちっと復活プロジェクト事務局 (川越スカラ座内)
埼玉県川越市元町1-1-1
090-1805-4477 (担当:野口)

出演者



鏡味 仙成(かがみ せんなり)

埼玉県飯能市出身。平成24年第7期国立太神楽研修聴講生になり。平成26年鏡味仙三郎に入門。芸名仙成に。落語協会にて前座修業開始。平成27年に前座修業修了、仙三郎社中として活躍中

《太神楽(だいかぐら)とは》

古くから神社を祭る式楽、舞楽(ぶがく)より生じ、伊勢、尾張(熱田)、水戸などが代表的発祥地と伝えられている。もともとは神様への奉納、氏子への祈祷などが主の【神事芸能】の太神楽だったが、その後寄席の出現などに伴い【舞台芸能】へと変化をし、獅子舞の余興として演じていた曲芸は、娯楽を提供する「寄席芸能」へと発展していった。太神楽は芸能の原点と云うべき要素を揃えており、時代に合わせた演出を楽しめる。

【舞】獅子舞・恵比寿大黒舞など

【曲芸】投げ物(撥・鞠・ナイフ・輪など) 立て物(傘・五階茶碗・皿など)

【話芸】掛け合い茶番(源三位頼政・祐兼参詣・五段目・鹿島の舞など)

【鳴り物】下座音楽・祭囃子など

※太神楽曲芸協会ホームページ参照。

アクセス

